

里山と土地利用の調査研究 中間報告会

羽茂地区における 農業・里山の 歴史と変遷

羽茂の農業と里山は
どのように受け継がれ
変わってきたのか。

これまで約30名の羽茂の農家の方々に
農地や水・山との関わり方

暮らしの知恵や農作業の工夫について
お話を伺ってきました。

そこから見えてきた羽茂の農業と暮らしの
特徴、その変遷をご報告すると共に
今後の羽茂の農業や里山について
考えていきます。

羽茂の農業のこれまでの歩みを捉え直し
これからの一步を共に考えませんか。



発表者

マリアム・ブイエ
MARYAM BOUIHED

フランス アグロ・パリ・テック 博士課程学生

フランス南西部・ボルドー出身。パリで環境科学と農業開発を学ぶ。人と自然が幾世代にもわたって共に育んできた「里山」の景観に関心を持ち、現在は日本とスウェーデンにて、伝統的な知恵と景観の移り変わりについて研究中。昨年10月より佐渡に滞在し、羽茂地区の農業者の皆様のもとを訪ねながら、農業と里山の歴史、暮らしの変遷について調査を進めている。大好きな果物は柿。佐渡の海で泳いだり、海藻や貝、魚を眺めたりする時間も大切にしている。

メッセージ：

この土地に出会い、ここで暮らす皆様から学ばせていただけることに心より感謝しております。

2026.8.28 金

18:30-20:30 (受付18:10-)

会場 | 羽茂農村環境改善センター 多目的ホール

参加費無料 / 申込不要 / 途中入退出自由

※当日は軽飲食のご用意がございます

主催 総合地球環境学研究所「SATOCONNプロジェクト」
新潟大学佐渡自然共生科学センターコミュニティデザイン室
問合せ先 0259-22-3885 (新潟大学 担当：豊田)

プロジェクトの
詳細はこちら▶

